



農外企業と語る「意思決定と実装プロセス」

経営戦略としての農業参入

2025年における基幹的農業従事者の平均年齢は67.7歳と高齢化が進み、今後数年～10年間で多くの農業者がリタイアすることが見込まれます。こうした状況を踏まえ、近年関心が高まる企業による農業分野への参入をテーマに、セミナーを開催いたします。

プログラム

- 開会挨拶：大和証券
- 挨拶・施策紹介：農林水産省 輸出・国際局長 杉中 淳氏
- 事業紹介：1 2 3 4
- パネルディスカッション：
【ファシリテーター】大和フード&アグリ 副部長 藤田 葵
- 閉会挨拶：大和フード&アグリ

会場

大和証券本社18階
大和コンファレンスホール

所在地：千代田区丸の内1-9-1
グラントウキョウノースター

最寄駅：JR東京八重洲北口

※ 当日は直接18階会場にお越しください

事業紹介

株式会社プレナス

アグリビジネス推進室 室長

佐々木 哲也 氏



Plenus

1 バリューチェーン強化を目指した農業参入

株式会社プレナスでは年間約4万tのコメを使用。農業生産者が減少する中コメの安定調達は喫緊の課題です。コメ生産事業参入の意思決定と実施過程はどのようなものかお伝えします。

清水建設株式会社

フロンティア開発室 自然共生事業部 部長

神成 篤司 氏



清水建設

3 サステナブル経営×農業参入

2010年代から、自社の持続的成長を見据えて農業に参画してきた清水建設株式会社。関与した農業生産事業の中から、とくに地域活性化に焦点を当てたプロジェクトについて語ります。

アイリスオーヤマ株式会社

執行役員管理本部長 兼 総務部長

田中 伸生 氏



iris アイリスオーヤマ

2 既存事業の深化としての農業事業

震災復興を念頭に2013年より開始した精米・加工・販売の既存事業を基盤に、新たに上流の米生産へと展開した農業参入の経緯と戦略を解説。

株式会社下村青果商会

取締役

下村 晃廣 氏



下村青果商会
Shimomura Fruits and Vegetables Company

4 M&Aによる農業経営拡大

下村青果商会は全国随一のきゅうりの生産・販売を行う法人です。2023年に農業参入を検討していた異業種企業に株式譲渡し経営拡大を図っています。その戦略とは。

お申込み

会場参加・オンライン参加とも7月17日（金）までに、下記フォームよりお申込みください。

※ 会場参加は定員に達し次第、応募を締め切らせていただく場合がございます。

※ 多くの団体の皆様にご参加いただけるよう、同一団体からの会場参加は2名を目安とさせていただきます。

同一団体から2名を超えるお申し込みが確認された場合、調整のご連絡をさせていただきますので、予めご了承ください。

お問合せ

下記フォーム、あるいは下記メールアドレスまでお問い合わせください。

お問合せ | 大和フード&アグリ株式会社

E-mail : dfa_info@daiwa.co.jp



参加申し込みフォーム



今回、お申込時に頂くお客様の個人情報は、本イベントへの参加確認、発表予定企業及び関係者内の連絡等、本イベント運営目的にのみ利用致します。この目的のため大和証券株式会社及び大和フード&アグリ株式会社は、上記の個人情報を親会社である株式会社大和証券グループ本社及び同社の連結対象会社または持分法適用会社ならびに本イベントの発表予定企業等の関係者に提供する場合があります。

※お客様の個人情報の利用目的について同意頂けない場合は、担当者にご連絡いただけますようお願い申し上げます